

緑 化 通 信

2018
6月25日
(年7回25日発行)
第466号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577
URL: http://www.ueki.or.jp/
E-mail: honbu@ueki.or.jp



購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円

第二十八回森と花の祭典 「みどりの感謝祭」式典

秋篠宮同妃両殿下をお迎えして開催

「みどりの月間」に実施される各種緑化行事の締めくくりにして、健全な青少年の育成や地球温暖化防止、生物多様性に資する緑化運動の推進を目的として、5月12日(土)に秋篠宮同妃両殿下をお迎えして「第28回森と花の祭典」みどりの感謝祭が「感じようみどりの恵みと木のぬくもり」を大会テーマとして東京・イノホールにおいて開催された。

「みどりの感謝祭」は農林水産省・林野庁、東京都(公社)国土緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会が主催し、本協会を含む多くの団体の協賛をもって開催されており、協会からは秋山富士雄副会長が出席した。

式典は、八王子森林パトロール隊による開会宣言で始まり、主催者を代表して齋藤健農林水産大臣の挨拶に続き名誉総裁の秋篠宮殿下がお言葉を述べられた。

次に「みどりの文化賞」の顕彰が行われ、佐藤清太郎氏とNPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟が受賞された。今回の文化賞は、「森が育む幼児の力」をテーマとしており、両者とも「森の保育園」「森の幼稚園」の実践を通じて

子供たちを森の自然の中で過させ、心と体の発達を促し、自立能力、コミュニケーション能力に優れた子どもを育てる活動をしていることが評価され今回の受賞となった。このあと、苗木と花の特別贈呈として、平成31年全国植樹祭開催地(愛知県)、平成30年度全国育樹祭開催地(東京都)、花いっぱい運動の代表の富山県南砺市に苗木と花が贈呈された。また、東日本大震災復興緑化用苗木が岩手県有住森林愛護少年団ほか2少年団に贈呈された。

その後、山火事予防ボスター用原画入賞の4作品の表彰が行われ、杉並区立桃井第四小学校合唱団による森と緑への賛歌が披露された後、愛知県のみどりの少年団による「誓いのことば」、日本ボーイスカウト東京連盟、ガールスカウト東京都連盟による開会宣言で式典の幕を閉じた。

また、12日、13日の両日



秋篠宮同妃両殿下をお迎えして開催

第29回「みどりの愛護」のつどい

5月26日(土)に滋賀県長浜市の県立長浜ドームにおいて、皇太子殿下同妃殿下をお迎えして、第29回「みどりの愛護」のつどいが開催された。式典では、緑化活動に取り組む団体の表彰などが行われた。皇太子殿下から「豊かな緑は、さまざまな環境問題を改善するともに、災害防止にも大きな役割を果たしており、緑豊かな環境づくりが発展することを願います」とのお言葉があった。協会からは、六倉孝行会長が出席した。

「みどりとふれあうフェスティバル」が日比谷公園内において開催され、関連団体、NPOや一般企業から多くの出展があり多くの参加者で賑わった。

年団による「誓いのことば」、日本ボーイスカウト東京連盟、ガールスカウト東京都連盟による開会宣言で式典の幕を閉じた。

「みどりとふれあうフェスティバル」が日比谷公園内において開催され、関連団体、NPOや一般企業から多くの出展があり多くの参加者で賑わった。

「みどりとふれあうフェスティバル」が日比谷公園内において開催され、関連団体、NPOや一般企業から多くの出展があり多くの参加者で賑わった。

「みどりとふれあうフェスティバル」が日比谷公園内において開催され、関連団体、NPOや一般企業から多くの出展があり多くの参加者で賑わった。

「みどりとふれあうフェスティバル」が日比谷公園内において開催され、関連団体、NPOや一般企業から多くの出展があり多くの参加者で賑わった。

「みどりとふれあうフェスティバル」が日比谷公園内において開催され、関連団体、NPOや一般企業から多くの出展があり多くの参加者で賑わった。

「みどりとふれあうフェスティバル」が日比谷公園内において開催され、関連団体、NPOや一般企業から多くの出展があり多くの参加者で賑わった。

「みどりとふれあうフェスティバル」が日比谷公園内において開催され、関連団体、NPOや一般企業から多くの出展があり多くの参加者で賑わった。

「みどりとふれあうフェスティバル」が日比谷公園内において開催され、関連団体、NPOや一般企業から多くの出展があり多くの参加者で賑わった。

「みどりとふれあうフェスティバル」が日比谷公園内において開催され、関連団体、NPOや一般企業から多くの出展があり多くの参加者で賑わった。

「みどりとふれあうフェスティバル」が日比谷公園内において開催され、関連団体、NPOや一般企業から多くの出展があり多くの参加者で賑わった。

総務・企画委員会

連絡調整会議を開催

5月17日(木)13時から協会・会議室に於いて連絡調整会議を開催した。出席者は正・副会長、専務理事、部会担当理事、ブロック長、専門部会長(含青年部会長)及び事務局等約20名。会議は中央会長挨拶の後、阪上副会長が議長を務め議事を進めた。

会議では、各ブロック、部会から活動報告があり、意見・要望に対しては次のとおり。

1. ブロックの意見、要望
北海道・東北ブロック
地方では、日本植木協会といっても知られていない

のが実情である。協会をPRする方策としてカレンダーを全国の県・市町村・造園協会等に、その県の会員名簿を添付して送ったかどうかの要望があった。この要望に対して、協会の名前を知って頂くためにはカレンダーの活用も一つの方策と思われる。しかし、カレンダーを全国的に配布すると多額の費用が伴うことになり、難しいものがあると思われるが、これによって協会の知名度が高まり、協会や会員に事業の発注が期待されることも考えられることから検討して

みたいとの回答があった。これに対して、配布は会員の在籍する市町村とすれば部数を絞ることができるとではないか。また、名簿の配布については個人情報問題もあることから行うべきではない。カレンダーに協会HPのQRコードを付与することも考えていた。また、この意見があった。

①ゴミ(切枝、葉)の処理の仕方について。②海外輸出の状況について教えてほしいとの要望があった。この要望に対して、圃場の切枝、葉の処理については野焼きが難しい状況になっている。農産物の残渣については野焼きできることにな

っている。野焼きするための許可申請については条例等に定めがあることから市町村等に相談いただきたくはない。花きの輸出については、年々増加しており政府が目標としている150億円に近づいており、その内訳については、切花が頭打ち傾向となっているが、植木・盆栽等が大きく伸びており輸出額の9割を占めているような状況にあることを説明した。

①事務局に行政機関や個人から寄せられる案件を、HPなどを活用してこのようなものがないか教えてほしい。②役員改選期に、前もってブロック選出の委員

会担当者を内定させたいので、委嘱前に必要な人員数を知らせてほしい。③事務局の業務軽減のために、専門部会の見直しを行ってはどうか。(部会から事務局の業務軽減のために、専門部会の見直しを行ってはどうか。)

①現在、協会が行っている事業について見直しが必要と思われる。会員の減少が止まらない。真剣に事業の見直し、身の丈にあった事業内容にしていきたい。この要望に対して、行政機関からの文書や個人からの情報等については、周知すべきものを事務局において判断しHPに掲載していく。ブロックにおける役員や委員

会担当者選出に支障をきたさないよう、迅速な情報提供を行いたい。部会の運営については各部会の自主性

平成31年度 通常総会開催の ご案内

- 開催日
平成31年1月29日(火)
- 会 場
ヒルトンホテル名古屋
愛知県名古屋市

ていきたい。総会は会員の情報交換を図る唯一の場と考えており、今のところ隔年開催は考えていない。長尺樹木の運搬については、

高速道路の許可に時間がかかることから、運送業界と検討を行っており、現在返事待ちとなっているとの回答があった。また、九州ブロックではOBによるシンシア会が結成されており、その報告もあった。

2. 部会の要望・意見

「コンテナ部会」

部会運営のためには、事務局員の配置が必要となっており、事務局員の減少により、部会・委員会の運営に支障をきたしていたが、5月より職員を採用したので担当を明確にして体制の整備を図っていくとの回答があった。

「庭園樹部会」

地球温暖化防止や美しい景観環境をつくるための樹木の大切さを理解してもらうため、関連団体と連携して、国(国交省等)・地方公共団体等に要望・陳情活動を積極的に行うことを要望があった。

国等への要望に関しては、造園関連6団体はもとより、協会単独での要望も重要と考えており、計画性をもって国、国会議員等に働きかけをしていきたいとの回答があった。

「新樹種部会」

部会の円滑な業務運営を図るために担当職員を配置して欲しいとの要望があった。

た。コンテナ部会への回答と同様の答えとなった。また、新たに3種類のクリアファイルを作成した。

「青年部会」

①青年部は会員減少に伴い厳しい状況にあることから、部会維持のため引き続き温情ある助成をお願いしたい。②青年部は、来年度発足40周年記念総会にあたる。記念総会に要する経費の助成をお願いしたい。③部会員の拡充のために、協会員の後継者は青年部に入るよう働きかけをして欲しいとの要望があった。後継者の活動育成は重要と考えており、青年部への助成についてはこれまでどおり配慮していきたい。また、発足40周年記念大会への助成については、計画が明らかになった段階において検討していく。後継者の入会は協会として強制することができないが、協会ブロック、支部などに会員が集う機会を利用して働きかけをしていくとの回答があった。

3. 平成31年度通常総会(愛知県)について

黒田中部ブロック長から、平成31年度通常総会を1月29日(火)に名古屋市のヒルトンホテル名古屋を会場として準備を進めているとの報告があった。

また、講演会の講師については、5名の候補者から絞り込みをしているとの報告があった。

4. その他

事務局から、消費税の軽減税率制度の広報・周知への協力要請があった。

濱野周泰プロフィール

東京農業大学農学部造園学科卒業、東京農業大学教授、同大学院農学研究科指導教授、博士(生物環境調節学)、社会資本整備検討会道路技術委員会道路緑化技術部会長として道路緑化技術基準の改訂。特定外来生物等分類群専門家グループ(植物)委員、第二次明治神宮境内総合調査植物調査主査。鶴岡八幡宮大イチョウ倒伏の再生統括監修。国分寺市農業委員、三鷹市・武蔵野市・江戸川区の文化財保護審議委員。著書は世界の巨樹と絶景の森、イチョウの絵本、大人の園芸「庭木・花木・果樹」、葉っぱで覚える樹木、他。



連載 植木よもやも話 ①

東京農業大学教授 濱野周泰

うえき・植木とは、造園用語辞典(東京農業大学造園科学科編)によれば「庭園・公園などのあらゆる植栽工事に用いるために、畑で整形、根づくりなどの養生管理がなされている造園樹木の総称。あるいは庭園等に植えられている樹木。」とされている。また、広辞苑によれば「庭園などに植えてある木。鉢植えにした小さい木。盆栽。」と記されている。これらの説明から、どことなく植木には、特定の樹種や形、用途は明確に定められていないようである。造園大辞典(上原敬二編)によれば、「同じ樹木であっても、これを掘り上げて植栽に使えるよう荷造りしてあっても同じ名称ではない。庭木、植木、苗木、山木、並木等その用途によって名称は異なっている。例えば道路樹用の大きい苗木は、誰も庭木とはいわない。庭園用として植栽されるべき樹木が植木商の植溜、仮植場、植木市、縁日、売店などにある場合これは商品であり、市場品として売買の対象になる。掘り上げて荷造りしてあると否には関係ない、大きさの大小、種類を問わない商いの対象となれば植木であり、庭園に植えられてはじめて庭木と呼ばれる。



公園木、庭木としても植えられるライラック

現在ではこの意味からさらに広く解釈され、庭木と植木の区別のない場合もある。要するに植木は①持ち運び、移動が自由である。②売買の対象になる。③植え付け、活着が容易である。明治28年頃までは「うえき」といえば盆栽をさしていた。従来は、代表的な庭木としてモチノキ、モッコク、



野生樹のアカマツと植栽されたカエデ類の調和した日本庭園

モクセイが上げられているが、地方によって異なっておりモッコク、モクセイにカナメモチ、ヒイラギが上げられていることもある。また、西日本ではクロガネモチをモチノキと呼んでおり、東日本では本来のモチノキをモチノキとしている。

昔は宇恵木、うゑきとって樹木を代表したこともある。または林帷(りんゐ)を「うえき」として、樹木の代表語としたこともある。なおまた昔は庭に植えたものは木も草も区別なく植木と呼んでいた。さらに古く古事記には、景行天皇の頃には「うゑぐさ」とも呼んだことがある。この当時は草の名が植物名の代表であったことから草のなかに木が含まれていた。」とされている。

では、「植木」という言葉はいつ頃から使われていたのであろう。樹藝学叢書(上原敬二著)には、「樹藝の対象となるものが造園樹木であり、昔は単に植木といった。『万葉集』のなかにはこの言葉が多い。それは野生樹と区別して称したもの。」と記されている。万葉集の巻三に「東の市のうゑき」、巻十四には「うゑたけの・・・」、巻十九には「わが宿のうゑき・・・」などその他にも多くみられる。ときに前栽を宇恵木といったこともある。」と記されている。前栽(ぜんさい)は、古名として用いられていた言葉であり、『作庭記』には「せんさい」とされている。作庭における様式をしめす言葉ではなく、平安時代には寝殿の周囲に植えられた草丈の低い小さな草を呼んでいた。庭前の植栽から誘導されたものであると推察されている。のちに庭園一般の植栽に用いられている草花を指すようになり「せんざい」と呼ばれるようになったとされている。

植木は、その由来から樹木に限らず草花を含む庭に植えられる植物全般を意味しているように考えられる。



自然樹形に近いサルスベリと草花(ペコニア)が植えられた庭園



植木として利用される個性豊かな(紅葉)樹木

事務局からのお知らせ

新規採用職員

の紹介



木谷 亨



吉田智子

のほうへどうぞ宜しくお願い申し上げます。

5月1日付で採用になりました木谷亨(きたにとおる)です。

6月1日付で採用になりました吉田智子(よしだともこ)です。

協会事務局の業務を全うするとともに会員の皆様のお力になれます様、精一杯努力し、職務に励む所存でございます。

皆様のご指導・鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



一年生イネ科雑草から広葉雑草まで幅広く防除する!!

農林水産省登録
第22788号

グリーンアーザラン® 液剤

日本芝用除草剤

製造 保土谷UPL株式会社

販売 ISK 石原バイオサイエンス株式会社

ホームページ アドレス
<http://ibj.iskweb.co.jp>



(R)はユービーエルジャパン(株)の登録商標



圃場 アジサイ挿し木



圃場 タマリユ

皆様、初めまして、いつも申します。私は、三重県のお世話になっております。鈴鹿市で卸売業を中心に。今年度から、（一社）日本植木協会青年部会に入らせていただきました。加藤時生（カトウキオ）

青年部会だより
今は試行錯誤で
加藤時生
（丸久植物園南・三重県）

仕事に携わらせて頂いております。
弊社では、ここ数年生産に力を入れてやっております。ツツジ類の他にも、アジサイやタマリユなどの生産にも力を入れてやっております。現在、取り扱っているアジサイの種類は数十種類ですが、お客様より注文を頂いた中で初めて聞いた名前があったりと、知識不足を痛感しております。しかし、こういったところに需要があるのか、どういったニーズにこたえられるのかを考えたから作ると、楽しさと共にやりがいを感じております。
私が、日本植木協会青年部会に加入させて頂いたきっかけは、会員様からの勧誘でした。初めてこれほど大きな会に参加させて頂きました。私の周りでも後継者不足の問題もあり、少なくなっている中で、人数、スケールの大きさに驚くばかりでした。協会に参加させて頂いたことで、全国の皆さんとの話をさせて頂く機会も増えた中でいろいろな知識を蓄えながら、試行錯誤し、豊富な知識を身につけていきたい、と思っています。ですので、これからの厳しい時代の中をともに助け合い、切磋琢磨しながら明るい業界にしていくように、盛り上げていけたらと思います。長くなりましたが、皆様、御迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、よろしくお願い致します。

緑育出前授業実施紹介（H29年度～現在）

緑育出前授業は、平成21年度から「緑育出前授業」として発足し、今年度で10年目を迎えました。現在まで108回開催し、これまで9,000人以上の方に授業を体験していただき、延べ880人の会員の方が「先生」として授業を実施しています。年々地域も広がり、全国的な各地で緑育出前授業を実施すると共に、指導方法等も工夫し質が高くなってきて、児童たちが興味をそそる授業内容になってきています。

	平成29年度	実施ブロック・支部	責任者	他スタッフ	実施学校名・団体名	対象学年	参加児童数	講義・感想など
1	2016/12/16	関東甲信越ブロック/神奈川県支部	生駒 順	1名	横浜市内小雀小学校	3年生	90名	先生との打ち合わせの上、例年のように行いました。「樹木の生産に長い年月がかかること」、「どんなところに使われているか」、「生産での苦勞すること」などを織り交ぜた授業を行いました。緑育コンテンツ「うえきのちから」を使用しました。授業記念品として苗木を人数分贈呈し、事例の蓄積と継続をします。
2	2016/12/28	中部ブロック/三重県支部	沖 俊直	1名	Dream Station 学童	1～4年生	15名	苗木の届ける宝物(講義)、身近な苗木(講義)、お正月の寄せ植え(体験)子供たちは真剣に話を聞いてくれた。苗木の大切さを認識してもらえたと思います。寄せ植え体験も楽しく出来ました。
3	2017/1/17	中国・四国ブロック/島根県支部	櫻井 太一 加藤 一巳	2名	益田市立東仙道小学校	1～6年生	29名	「みどりのちから」と「この木なんの木」を組み合わせ講義を実施。1～6年生と範囲が広く、保護者も参加したので、講義が難しかった。子どもたちが真剣に講義を聞いてくれたのが印象的だった。今後も子どもたちに緑の大切さを伝えていきたい。
4	2017/2/23	九州ブロック/福岡県支部	山崎 敬明	2名	小郡市立立石小学校	5年生	25名	1. 緑の役割・苗木産地について(戦後復興の話から砂漠地帯、緑との共生まで)、2. 植物の生育・出荷・植栽までの道のり、3. 植物の種類・性質(常緑 落葉 針葉 自形性 他形性 香り等を盛り込んで)、4. フィールドワーク(木の高さを計る 植物の性質)、5. 世界中の植物、6. 木の名前を覚えよう(積み木使用)
5	2017/2/27	関東甲信越ブロック/茨城県支部	古谷 孝行	2名	古河市立上辺見小学校	6年生	44名	日本一の植樹たち、世界一の樹木たち、苗木の生理・生態、私達とのかかわり方や苗木からの恩恵、校庭内の樹木でのフィールドワーク(葉・枝・根の大切さなど)、協会「積み木」と「湯呑み」を使った苗木の名前の説明など。漢字積み木の関しては、すぐに完成してしまいました。木への漢字湯呑みに関しては、児童たちより、先生方や大人の反応が上々であった。
6	2017/8/11	関東甲信越ブロック/神奈川県支部	生駒 順	なし	綾瀬市	3～6年生	30名	3月より数回の打ち合わせの後、授業内容、人数、対象学年などを決定しました。「うえきのちから」を使用して授業を30分ほどした後、苔玉づくりを体験してもらい植物を育てる経験をしてもらうという内容です。苗木屋さんの紹介から苗木の大切さ、育てる喜びが伝わるような内容としています。協会に問い合わせ・授業依頼があり、対応した案件です。
7	2017/8/26～27	緑育委員会/青年部会 関東・甲信越ブロック	加藤 一巳 生駒 順	21名	臨海副都心「花と緑」のイベント実行委員会	青少年	300名 保護者含む	昨年に引き続き、東京オリ・パラおよび花きの普及イベントにて、来場者を対象として、こけ玉づくりワークショップ、木への漢字パズルを開催。171名がこけ玉づくりに参加、苗木と土と触れ合うイベントを通じて「緑育」を広めることが出来ました。
8	2017/8/31	北・東北ブロック/宮城県支部	田中 秀穂	なし	仙台市立遠見塚小学校	6年生	44名	「植物のはらさきと人のくらし」水分蒸散量による周辺温度の違いの検証(乾いたタオル、ぬれたタオル、造花の葉、サイパチエンスの葉)、使用器具、放射温度計、単眼顕微鏡による針葉樹クロマツの気孔の確認、地球温暖化の温暖と植物の動き、植物(樹木)のCO ₂ の固定化他。
9	2017/10/2	九州ブロック/熊本県支部	石松 要一郎	11名	高森町立高森中央小学校	6年生	55名	樹木の役割について。樹木の大切さについて。世界の色々な樹木について。植物の植え込み方法について。小学生からも活発な意見があって深く緑に関することを学べる機会が提供できたのではないかと思います。感謝の言葉も頂き、今後も活動を続けたいと思います。
10	2017/10/3	九州ブロック/福岡県支部	田端 功	福岡支部 青年部	飯塚市立穂波東小学校	3年生	97名	昨年に引き続き、福岡県環境緑化懇話会による「大将陣公園 植栽ボランティア」が開催され、その中で、植栽安全指導、植栽かつ玉、及びこの木なんの木を行った。造園組合及び青年部会で各班に分かれ、ロウバイの植栽サポート、安全指導及びこの木なんの木を行い、無事定刻通り終了とした。
11	2017/10/4	中部ブロック/愛知県支部	岩田 悠揮	4名	稲沢市立千代田小学校	4年生	70名	愛知県苗木センターにて、挿し木の授業を実施。3種類の樹木の挿し木。講師はグループに1人について、挿し木の説明や手伝いをする。完成したものは、学校へ納める。
12	2017/10/22	九州ブロック、青年部会 福岡県支部	田端 功	青年部 福岡19名	アンビネット 小郡市 地域連携協議会	青少年	420名 保護者含む	こけ玉60(家族含め120名) 積み木200名 この木なんの木100名=420名 それぞれ担当に分かれて緑育を行った。また、協会のアピールも同時に行った。台風だったため、参加者が少なかったにもかかわらず、大変楽しんでもらえた。緑育を浸透させるには継続が必要だと感じた。
13	2017/11/1	九州ブロック/鹿児島県支部	内田 義一	7名	出水市西出水小学校	3年生	120名	緑の大切さを感じてもらい、苗木屋の仕事を知ってもらうことを目的に行った今回の緑育出前授業。同校で行うのは今年で7年目となる。(平成20年より実施)座学では、実際の仕事風景等を写真で紹介するなど、普段見ることのできない苗木屋の仕事内容を伝えることができた。 実際の苗木を目の前にして、根巻実演を行った。2種、2班で根巻のやり方、スピードが違うのも面白かった。剪定では、剪定はさみから、大はさみ、のこぎり、チェーンソー、高枝ハサミまでいろいろな道具を使用して剪定実演を行った。道具の違いを楽しんで見学してくれたようだ。また、用意したタラヨウの葉っぱを使い、葉っぱに文字を書いてもらった。文字が浮か出てくるときに歓声があがるほどの盛り上がりを見た。
14	2017/11/22	九州ブロック/鹿児島県支部	内田 義一	6名	出水市西出水小学校	3年生	120名	苗木市場にて、実際にセリ市を行っている時間帯に見学をしてもらった。出水市内には、2か所の苗木市場があり、2のつく日と、7のつく日に競り市が開催されている。セリの掛け声を聞きながらの見学は、良い体験になったのでは。市場内には、何百種類という苗木が並んでいるので、樹木を見てもらうことだけでも面白かったようだ。
					平成29年度 14回 1,459名			平成21年度からの累計 103回/8,362名
	平成30年度	実施ブロック・支部	責任者	他スタッフ	実施学校・団体名	対象学年	生徒数	講義・感想など
1	2017/12/26	中・四国ブロック/三重県支部	舘 信次	8名	鈴鹿市立西鈴小学校	4年生	48名	この木何の木 4グループに分かれて6種類の木を学校内に歩きながら見つけ、その特性を学ぶ。最後には、その班ごとに発表を行ってもらった。今年は例年より生徒数が多くてスタッフ8名でぎりぎりでした。毎年恒例となっているので、これからも続けて行きたいです。
2	2018/2/13	九州ブロック/大分県支部	清瀧 陽平	8名	杵築市立豊洋小学校	4年生	13名	奈多海岸での植栽指導。小学生と一緒に抵抗性クロマツの植林を行う。その後、マツの植林をテーマに勉強会を行った。防災のために海岸林を整備する必要性、植えるだけでなく後の管理が松原にとって大切であることを児童に理解してもらえよう努めました。海岸に植えた黒松を通じて植物に親しみ、緑の大切さを感じながら児童たちが成長することを願います。
3	2018/2/13	関東甲信越ブロック/神奈川県支部	生駒 順	1名	横浜市内小雀小学校	3年生	63名	「みどりの大切さ」を「樹木の生産には長い年月がかかること」、「どんなところに使われているか」、「生産での苦勞すること」などを織り交ぜた授業を実施。緑育コンテンツ「うえきのちから」を使用。授業の記念品として苗木を人数分贈呈し、事例の蓄積と継続をします。
4	2018/2/14	九州ブロック/福岡県支部	古賀 光博 田中 博和	6名	小郡市立立石小学校	5年生	33名	苗木・緑・農業・土について質疑応答。苗木屋の作業について説明。朝は寒かったのですが、日中は天気も良く、楽しく行うことができました。田中常緑園様の圃場で、実際に緑や土に触れて緑の話や、掘り取り作業などを身近に見たり、体験出来たことが、小学生との距離も縮まり、お互い楽しく緑育ができたと思います。
5	2018/5/26	九州ブロック/大分県支部	二村 沢行 清瀧 陽平	2名	NPO 法人 アイラブグリーン 大分(ALGO)	青少年	500名 保護者含む	当日は午前中小雨の空模様となったため、テント内での「木への積み木パズル」や輪投げゲームで子ども達に遊んでもらいました。ゲームに参加して頂いた親子連れに苗木を無料配布して、その樹木の説明や水やり等の管理について、また庭木の相談などを受け付けました。午後からは、天気も回復し来場者も増えて準備した280本の苗木と緑育のパンフレット200部がイベント終了を待たずに品切れとなりました。
					平成30年度 5回657名			平成21年度からの累計 108回/9,019名

地方かわら版

東京支部

丁寧に育てて管理する

梅田 富夫

(梅田園 東京都)

私が植木生産に携わるようになって20年になります。が、それは同時にバブル崩壊後の業界全体の低迷や住宅事情の変化により、根本から経営スタイルを見直さねばならない時期もありました。20年前には普及し始めたばかりのインターネットを通して、小売販売を始め、消費者のニーズが直に聞こえるようになった事で生産品目を選ぶ基準が徐々に変わりました。それからは、インターネットの普及に伴い、次から次へと新しい樹木や品種が求められ、圃場は一変しました。しかしながら、その一方で日本の風土に合わないものや管理が難しいものなど新品種ならではの生産の難しさにも悩まされました。求められるまま、我々、

生産者が取り扱いにくいと思う樹木をお客様に提供する事に疑問を感じることもありました。

私が暮らす街には戦後、米軍が接収した立川基地跡地のうち180haを記念公園として建設された「国営昭和記念公園」があります。当初は、広大な面積にどんな公園ができるのか大変、話題になりました。開設から35年経った今、園内には、サクラやケヤキ、イチョウなどの巨木類も広場で悠々と枝葉を広げ、「日本庭園」や「こもれびの里」では四季折々を多くの樹木が彩り、日本古来の風景を見る事ができます。

連日、多くの来園者がこの公園で季節や緑を楽しむ姿やアンズ、ウメ、モモ、ボケ、クスノキ、コナラ、



ブンゲンストウヒ類の圃場



ブンゲンストウヒ オメガ



トキワマンサク
ホワイトプリマドンナ



イロハモミジ 立性
司シルエット



ソヨゴ 立性 'ハラシマ'

シャクナゲ、モクレン、モミジ、カン等、園内に溢れる在来種を見ているとこの仕事に就いたばかりの頃、一生懸命、樹種を学んでいた自分を思い出します。そのころ、ある先輩に「木を直すのが植木屋だ」と教えられた事があります。大切なのは珍しい新品種や外来種、在来種なのかではなく、どんな木でも丁寧に育てて、管理するから綺麗になり、庭や公園を演出できます。

リレー連載

うえきのちから ～植木が届ける宝物～

生け花との共存

中嶋 皐月



欧米の花市場などでは、木物、枝物と称される花材はほとんど売られていない。実際、海外で生花(せいけい)、盛り花、投げ入れなどを生けようとする、知人の庭の植木を切り取らせて頂くかなど特別な苦勞して花材を手に入れるしかない。最近、本邦でも茎のついた花のみしかおいていない店も多くなった。

幸い、京都ではお寺や生け花のお家元が多く、時期を問わず木物の花材のみならず、近年は珍しい洋花をいち早く手にいれることができる。日本の生け花と西洋のフラワーアレンジメントとの違いは、前者は宗教精神あるいは各流儀に基づく花矩、理論や形があり、花の茎や木の幹の美しさとともに生け上がりの過程の剪定をも楽しみとするが、後者は花から茎、葉などを取り払い、花のみをオアシスと称する吸水スポンジに差し込むか、茎の存在など意に解さないかのように花瓶に生け、美を表現する。

以前の緑化通信で庭師の哲学に「作庭四部 維持管理六部」とあったが、まさに息の長い、人生と重ねてしまうような所業である。一方、生け花はお花屋さんや相談しながら、花材をわけて頂いたその時から、その木や花が枯れるまでの刹那的な花のいのちとの一期一会である。花の個性を大事にし、いっそうに美しさを引き出し、できる限りいかに長く生かせることができるか。そこには茎の水切り、茎を酢につける、茎を焼くなど決して表には出ない先人の知恵もある。生け花の撤収は、同時に花供養の時でもある。

今年、平成30年3月には、前回揮毫の私どもの社中である庭師の山口鎌作さん、入江久美子さんと藤野毅史さんの合同で東山花灯路現代いけばな展に出瓶した。京都円山公園内で約3メートル四方の舞台上に、流石、庭師の山口さんならでは発想で素晴らしい枝ぶりの赤松を根巻き状態で据えおいた。そこには庭師として千年の翠の松を切るには忍びないとするひとつの想いもあった。松の前には切り花が置かれ、植木と生け花のコラボレーション、永遠と刹那の



2018年3月東山花灯路現代いけばな展 主材 赤松

中嶋皐月プロフィール

京都市生まれ 京都女子大学家政学部食物学科卒業(栄養士)
御室流華道(仁和寺)華督 裏千家茶道 正教授(茶名 宗榮)
日本いけばな芸術協会特別会員 裏千家淡交会特別師範会員
平安神宮献花会理事 裏千家インターナショナル会員
いけばなインターナショナル会員
京都女流京華会会員、御室流門人会員

共存を見事に演出した。数万人が訪れたというこの花灯路の観客のところに間違いなく作者たちの想いも伝わったものと感じ入った作品であった。

今回のこの作品をつうじて改めて植木と生け花の共存がこれからの大きなテーマとなっていく予感がする。

茶花としての椿

11月から4月までの炉の時期には、椿のつぼみを茶室に生ける。特に炉開きの11月には、白の椿と照り葉(紅葉)の赤で紅白と、ほぼ茶道では決められている。京都市内でこの炉開きの頃に咲く白椿は限られている。名利である大徳寺、妙心寺など、お寺に行けば椿が競って咲いている。お寺に限らず、昔は隣家との垣根が椿だったりしたそうである。

しかし、この椿、厄介でもある。椿の花は、切花の主材とするには、咲く向きが難しく、花が葉の下、裏に咲くことが多く、また開花すると汚れが目立つようになる。それではと早めにつぼみの膨らむ頃を狙っていると、鳥達もここぞとばかりに啄むのである。早朝に額だけが残った姿をみて愕然としたことが何度あったことか。開ききった椿など鳥は見向きもしない。また、どういうわけか庭師が剪定した椿は枝が短く、茶花としては生けにくい。

太閤遺愛の胡蝶わびすけ椿などは、花弁が一重の椿で美しく可憐である。寒椿、獅子頭のような花弁が八重のものはつぼみの時には茶室に沿うが、開花すると薔薇のようになって扱うのが難しい。

長い炉の期間に、わびすけ、日光椿、月光椿のような花弁が一重の椿が順に咲いていくような庭があれば茶人としては実に重宝するのだが、同時に鳥たちも喜ぶのだろうか。



2018年4月 平安神宮献花
主材 ぼたん桜 花器 桜樺細工



2018年5月 御室流全国挿花大会(仁和寺)
主材 唐松・器 竹

家紋と植物 ①

中 澤 幸三郎（株京都芳樹園緑販・京都府）

1 家紋とは

もともと苗字の目標として用いられたものであり、概ね対称的（左右相称、放射相称）形状を示すものが多く、その起源としては、鎌倉時代の公家階級が衣服や車に付けた文様、及び武士階級の旗印や陣幕の文様から始まり、それが代々世襲的に受け継がれて「家」を表す紋章となっていたと言われています。

なお、武士においては、苗字の目標以外に敵味方の区別をつけ易くするための目印という意味合いも強かったと考えられます。

江戸時代以降は、主として大名家の公務社交上の必要アイテムとなり、その形状も単なる文字や幾何学的なものから動植物、天文や自然現象、果ては日常の生活道具類までありとあらゆるものを取り



ミツ柏紋（酒造会社ののれん）京丹後市

入れ、それらを更にデフォルメして、丸や四角で囲むことにより、一層多くのヴァリエーションを生み出して華美装飾的な姿になってきました。

それが明治以降、一般庶民にも普及し、各々の「家」の目印として家紋というものが存在するようになったものです。これは王侯貴族以外には、余り紋章というものが使われることの無かったヨーロッパとの大きな違いでしょう。

しかし、近年になって核家族化が進み「家」という感覚が薄れ、衣服や家具調度品に家紋を入れるという風習がなくなってきたため、今日では家紋というものを目にするのは告別式の提灯ぐらいとなり、若年世代では自分の家の家紋

を知らない例を見受けられるようになってきました。

とは言え、この世界でも稀なあらゆる事象をデザイン化して作り出されてきた「家紋」をもう少し見直してもいいのではと思います。

2 植物紋

現在、日本の家紋は二万種類をこえるというのが定説になっており、その中でも植物由来のものが可成り存在しているようです。

しかし、その家紋全てを調査することは到底無理なので、家紋の図鑑である「紋帖」を主体にいくつかの参考資料の中から植物紋をピックアップしてみました。

従って、当然まだ未知の植物が存在するものと考えられますが、一応、表－Ⅰの74種類を確認することができました。

そのうちでもキク、キリ、フジ、ササ、キキョウ、カシワ、ウメ、カタバミ、ミョウガ、ボタンなどが多用され、各々キクの140余を筆頭に80～120の図案様式が創出されています。

またマツ、ツタ、アオイ、リンドウなどもよく見かける例ですが、ヨーロッパで王侯貴族の紋章としてよく使われているバラとユリは、今回調べた限りでは見つけることができませんでした。

共に美しい花であるにも関わらず、普遍的でないのは何か訳があるのでしょうか。

あと、コブシにモクレン、ムクゲにフヨウといった目に付き易い花木も見つかりませんでした。ご存知の方はお知らせ願います。



菊水紋（楠木正成一族ゆかりの寺院山門）亀岡市



フタバアオイ（栽培品）亀岡市



花菱紋（一般民家）京都市



松竹梅紋

表－Ⅰ 家紋に用いられた植物名

アオイ（フタバアオイ）	ウマノスズクサ科	クルミ	クルミ科	ナナクサ（ナズナ）	アブラナ科
アオイ（ミズアオイ）	ミズアオイ科	コウホネ	スイレン科	ナデシコ	ナデシコ科
アサノハ（アサ）	クワ科	ゴギョウ（ハハコグザ）	キク科	ナンテン	メギ科
アサガオ	ヒルガオ科	サクラ	バラ科	ハギ	マメ科
アシ	イネ科	ササ（含タケ）	イネ科	バショウ	バショウ科
アワ	イネ科	シュロ	ヤシ科	ハス	スイレン科
イタドリ	タデ科	セキチク	ナデシコ科	ヒイラギ	モクセイ科
イチヨウ	イチヨウ科	セリ	セリ科	ヒサゴ（ヒョウタン）	ウリ科
イネ	イネ科	スイセン	ヒガンバナ科	ヒシ	ヒシ科
ウリ	ウリ科	スギ	スギ科	ビワ	バラ科
ウメ	バラ科	ススキ	イネ科	フジ	マメ科
オオバコ	オオバコ科	スミレ	スミレ科	ブドウ	ブドウ科
オモダカ	オモダカ科	ダイコン	アブラナ科	ボタン	キンポウゲ科
カエデ	カエデ科	タチバナ	ミカン科	ホヤ（ヤドリギ）	ヤドリギ科
カキツバタ	アヤメ科	タンポポ	キク科	マツ	マツ科
カキ	カキノキ科	ツタ	ブドウ科	ミョウガ	ミョウガ科
カジ（カキノキ）	クワ科	ツバキ	ツバキ科	モモ	バラ科
カシワ	ブナ科	チョウジ	フトモモ科	モロムキ（ウラジロ）	シダ植物
カタバミ	カタバミ科	チャノミ（チャノキ）	ツバキ科	ヤマブキ	バラ科
カブ	アブラナ科	テッセン	キンポウゲ科	ユウガオ	ウリ科
キキョウ	キキョウ科	デンジソウ	シダ植物	ラン（シュンラン？）	ラン科
キリ	ゴマノハグサ科	トウガラシ	ナス科	リンドウ	リンドウ科
クスハナ（クス）	マメ科	ナギ	イヌマキ科	レンギョウ	モクセイ科
クチナシ	アカネ科	ナシ	バラ科	ワラビ	シダ植物
クリ	ブナ科	ナス	ナス科		

部会だより・庭園樹部会 今「庭園樹」を考える

庭園樹部会 副部長 小畑 勝 裕
(有)仲松園 静岡県

今回の部会便りの原稿を依頼された事を機会に、庭園樹部会の歴史を振り返ってみましたので紹介致します。

当部会は、昭和六十年七月に発足致しました。発足当時から活発に活動し、翌年には庭園樹木写真集を発刊しました。その後平成十六年に第4集まで発刊しております。また、名木認定事業も併せて事業化し、部会員の所有する優れた庭園樹を協会内外に情報発信し現在は協会事業として継続しております。

能なこと。この二つが重要な要件と考えております。現在国内では和風建築物の減少や花木・カラーリーフ・山探り自然木等への嗜好の変化により造形樹木の需要は減退しております。そのために、多くの造形樹木は取引が活発な国外向けに販売され、植木圃場に限らず個人邸の古い庭木まで運ばれています。私の地元浜松市浜北区でもその傾向は同じで、管理を放置された木も仕立て直され移植されています。

庭園樹の生産には通常の樹木より年数を要します。そのため、単価もやや高価でありますが、年数を経た風格や整った樹姿は維持できます。剪定枝の発生も少なくなります。生育の早い高木の街路樹は、落ち葉や歩道の持ち上げなどの問題で中木の花木へと植え替えられますが、ここに庭園樹の利用を提案したいです。実際に二〇年以上経過してもほとんど大きさが変わら

さて皆さんは「庭園樹」という用語にどのような樹木を想像するでしょうか。多くの方々が、日本庭園に植栽されているマツ類を代表とする長い歳月を経て仕立てられた造形樹木を最初に思い浮かべると思いますが、しかし実際には、マツ類・マキ類・ツバキ類・シロシギなど常緑樹の造形樹木に限らず、モミジ類などの落葉広葉樹からツツジ類・ソテツやオリブまで「庭園樹」と認識しています。厳格な規定は有りませんが、継続的に剪定管理が行われ、樹姿・樹形が整っていること。そして、その姿のまま移植が可



ニシキギ樹齢約30年



セントレア出発ロビーでの展示

ず、歩行者や車道にも通行の妨げになりません。本年三月に浜松市の後押しもあり、セントレア(中部国際空港)出発ロビーで植木生産者会の事業として2週間庭園展示を行い国内外の観光客からも好評でした。庭園樹を含め植木の良さをアピールし需要に結びつけるのは簡単ではないですが、庭園樹部会だけでなく協会全体で取り組む必要性を改めて認識しました。



接ぎ木によるクロマツの仕立



イヌマキ街路樹

日本ポリ鉢販売 株式会社

会社概要

ポリポット、トレー、SP栽培システム関連機器の商品開発及び製造販売



経営方針(抜粋)

「品質と信頼」を追求し、お客様から愛される物づくりを行う。

1

常にお客様の立場に立って物事を考え、お客様にご満足いただけるサービスを提供する。

2

現在の有るべき姿に満足することなく、あらゆる面において改革・改善を惜しまない。

3

お客様にご満足いただける一体感ある社内連携に心がけ、スピードある対応をする。

開発・生産・管理・物流

下記の第5・6倉庫は、2016年5月に完成いたしました白川工場物流センターです。国内の生産拠点となります銚金山化成 白川工場に隣接する形で完成させました。

海外生産依存の強いポリ鉢生産では有りますが、今やその種類は1,000種類を超すまでになり、その生産商品の多様化時代に合ったスピーディーな生産体系を求めればやはり国内生産は必須と考えその効率化を図るために建設に至りました。

海外から毎週入荷するコンテナも重要でありその生産性を維持するための保管庫が急務と考え2012年から建設を始めようやく満足のいく物流センターが完成いたしました。

今後は、この物流センターを大いに活用しお客様に満足いただける「製品の開発・生産・管理・物流」を一貫して行える事業展開を進めて参ります。

白川工場物流センター 第5倉庫・第6倉庫
(全長15m×65m)



白川物流センター 第1倉庫・第2倉庫
(全長30m×70m)



日本ポリ鉢販売(株) 白川物流センター

(第1倉庫～第6倉庫、荷捌場)倉庫内総面積 3645㎡

白川物流センター
第4倉庫(15m×25m) コンテナ荷捌場(15m×10m)



白川物流センター 第3倉庫
(15m×30m)



日本ポリ鉢販売 株式会社

〒505-0036 岐阜県美濃加茂市山手町3丁目26-1
TEL.0574-24-7724 FAX.0574-24-7728
E-mail / nippori@kpot.co.jp

<http://www.kpot.co.jp>

日本ポリ鉢

検索

シリーズ
賛助会員紹介
No.7

日本列島植木植物園

ナショナルプランツ コレクション*

ナショナルプランツコレクション
鳥取県・(有)竹本園 山本牧子 ☎0858-88-0233
<http://takemotoen.jp/>

ガマズミ (Viburnum dilatatum)

英名: Linden arrowwood

ガマズミの仲間(ガマズミ属 *Viburnum* L.)は世界で150種以上あり、日本には主に12種が生育している。弊園では、日本の在来種12種と外来種6種を保有する(内、生産は在来種9種)。その中の一つ、属名にもなっているガマズミは、丘陵地や山地に普通に生える落葉低木である。鋸歯を有する葉は倒卵形で大きく、葉の両面や若い枝には毛が密生している。5～6月にまとまって咲く白い花はとても見応えがあり、秋の赤く熟した実をたわわに実らせる姿もたいへん美しい。薄紅色の染料にも使われ、ガマズミの「ズミ」は「染み」が転訛したものと云われている。また、春を探す花という意味の「探春花」や、雪より白い花を妬むとして「妬の花」という名も持つ。



ガマズミの花



ガマズミの実

参考文献

日本の野生植物 木本Ⅱ(1989)
佐竹義輔・原 寛・亘理俊次・富成忠夫 編
樹木大図説Ⅲ(1961)上原敬二 著

*ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

お知らせ

日本列島植木植物園運営委員会
秋の新潟視察研修会開催のご案内(会員のみ)

1. 日 時 平成30年9月26日(水)～27日(木)
2. 場 所 新潟県燕三条市・新潟市・阿賀野市方面
9/26 ㈱外山刃物工場視察・会員囲場視察
9/27 新潟県立植物園、梅長園、(有)香花園、花夢里にいつ他
3. 集 合 9/26 JR 燕三条駅 12時00分
4. 解 散 9/27 JR 新潟駅、または新潟空港
5. 参加費 3,000円(保険料、入場料等含む)
6. 懇談会と宿泊費: 19,000円/一人
7. 宿泊先 ひさご荘(新潟県・月岡温泉) 5人部屋
8. 締 切 平成30年9月10日(月)(最少15名決行)
9. 問合せ 協会事務局 中村まで ☎03-3586-7361
※別途申し込み用紙同封

平成30年度 社園別生産数量調査 開始案内

協会事業である社園別生産数量調査を下記日程で実施します。
全社園様の協力をお願いいたします。

調査期間: 平成30年6月25日(月)～7月20日(金)

- ①協会ホームページ・会員ページにログインしIDとパスワード入力し社園別生産数量調査入力用システムをダウンロードします。
②データ入力します。
③データ入力完了後アップロード送信します。
※詳細については、別紙「入力マニュアル」を同封しますのでご確認ください。

生産数量調査代行入力について

生産数量調査について、エイコスに代行入力をお願いすることも可能です。代行入力は有償となっております。料金の目安は66円/件、および結果資料の送付料金等となります。希望される方は、下記に電話又はメールをしていただければ、作業詳細書及び入力シートが送付されます。
エイコス 大畠 寿裕
(TEL)045-309-0018 (Mail)sp_ohata@diary.ocn.ne.jp

- (作業方法)
①入力シートをお送りしますので記入して頂き、返送願います。
②入力シートから見積書をお送りします。
③了承いただいてから作業に入り、入力結果をお送りします。
④了承して頂いた結果を調査入力結果とします。

名木認定申請募集について

芸術性の高い名木の認定事業を、関東・甲信越ブロックを対象として募集いたします。
自薦、他薦を問いませんので、一本でも多く申請いただき、地域に埋もれた名品を発掘すると共に、地域振興の資とされますよう、ご案内いたします。

- 記
1. 募集地域 関東・甲信越ブロック
2. 募集締切 平成30年6月29日(金)必着
3. 提出資料 1) 名木認定申請書
2) 樹木の特徴を明確にした写真3～4枚
4. 費 用 認定板費 23,000円(1本に付)
5. 提 出 先 〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22
三沖ビル3F 名木認定委員会
6. 審 査 1) 二次審査は複数委員による現物評価を実施します。
2) 申請本数の制限はありません。

平成30年度 都道府県別供給可能量調査
開始案内

協会事業である、都道府県別供給可能量調査を下記日程で実施します。
全支部の提出へ向けご協力をお願いします。

調査期間: 平成30年7月1日(日)～7月31日(火)

※6月下旬、入力用システム搭載のCDを支部長及び各支部IT委員にお送りいたします。
※調査結果は官公庁及び造園関係団体にCD配布、協会のホームページで公開し、材料調達時の参考にさせていただきます。

コンテナ部会 国内研修会のご案内

コンテナ部会では、恒例の国内研修会を下記日程で実施します。今年は三重県津市・鈴鹿市の植木産地視察で、多くの生産者を回ることができる日程となっております。
特色ある生産技術や外国人技能者の雇用等の情報交換に活かせる内容となっており、ぜひご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。
開 催 平成30年7月11日(水)～12日(木)
集合場所 JR 名古屋駅太閤通口・銀の時計台
視 察 先 三重県津市((株)浅井農園、(株)正樹園)
三重県鈴鹿市(野呂新緑園、中島農園(株)、
(有)鶴飼農園、(株)イシイナーセリー)
宿泊場所 湯の山温泉・ホテル湯の本
解散場所 JR 名古屋駅
費 用 ①部会員・協会員関係27,000円/人
②上記以外 33,000円/人
問 合 せ 協会事務局 木谷 ☎03-3586-7361

新樹種部会
「撮影力アップ! 植木売上アップ! 講習会」(会員のみ)

プロカメラマンによる撮影技術の研修会を計画いたしました。(コンパクトカメラを含む各種設定のできるカメラ対象)部会員以外の方も大歓迎!!
数年前に同様の講習会を行いました。再度撮影技術を学びたい!」という声にお応えして再度、研修を開催いたします。
開 催 日: 平成30年7月24日(火) 10:00～17:00頃
(雨天決行)
集 合: 10時 東京都中央区 晴海区民館
内 容: 午前 撮影に関するポイント講習会(座学)の後、
実際現場にての撮影会(トリトンスクエア内)。
午後 撮影後の講習会
解 散: 17時 東京都中央区 晴海区民館
講 師: 高柳俊泰 氏(プロカメラマン)
募集人員: 24名(先着順) 最少催行人数: 15名
参 加 費: 2,000円(当日集金)
応募締切: 7月13日(金)
※先着順ですので、お早めにお申込みください。
問合せ先: 協会事務局 佐藤まで

植生アドバイザー育成講座 受講生募集

講座は、全3コースで構成されており、1年目は「A 植生調査コース」、2年目は「B 植生景観調査コース」、3年目は「C 植生復元・モニタリングコース」と、1年ごと段階を踏んで受講していただくことで、植生学の基礎～植生調査手法～データの分析と植栽計画の立案～植栽とモニタリングを体系的に修得できるカリキュラムが組まれています。本講座は、その優れた内容が評価され、環境省と農水省共管の「人材認定等事業」の育成事業として登録されております。
1. 日 時: 平成30年8月26日(日)～29日(水)(3泊4日)
2. 内 容: 「A植生調査コース」: 植生学の基礎、日本の植生、植生調査方法、野外実習、データ整理と解析
「B植生景観調査コース」: 植生景観の基礎、植生景観調査方法、野外実習、データ整理と解析、景観区分図の作成と修復計画
「C植生復元・モニタリングコース」: 生態学的緑化方法、植生景観計画に基づいた植栽計画、植生景観に基づく緑化工法事例
3. 講 師: 植生学の専門家の先生方で実施いたします。
4. 受講料: 59,000円(税込)(研修費・宿泊費等を含みます)
※早期割引: 6月30日までのお申し込みの方は57,000円(税込)、協会員: 55,000円
5. お問合せ先: 協会事務局 佐藤 ☎03-3586-7361まで

地域性植物適用研修会のご案内

地域性植物適用委員会では、下記により研修会を行いますのでご案内いたします。
日 時 平成30年9月13日(木) 13:00～16:30
場 所 全国燃料会館 8階会議室
中央区銀座八丁目12-15

テーマ ① 安倍川大谷崩れ周辺の植生調査
② 石巻復興祈念公園事業について
会 費 無料
その他 申込等詳細については後日ご案内いたします。

※平成30年4月1日より、東京三菱 UFJ 銀行の行名が、三菱 UFJ 銀行に変更になりました。

コンテナ部会
平成31年度通常総会のご案内

開催日 平成31年1月30日(水)
会 場 TKP 名駅桜通口
カンファレンスセンター
愛知県名古屋市

青年部会
平成31年度通常総会のご案内

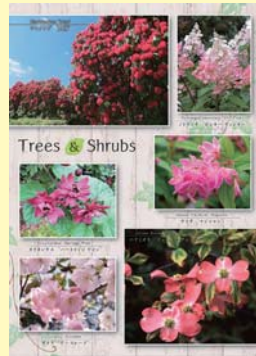
開催日 平成31年2月5日(火)
会 場 ホテルメルパルク東京
東京都港区

新樹種部会からのお知らせ

昨年企画した新樹種のクリアファイル3種類が完成しました。
今回は、新樹種の花色に焦点を当て、「赤花系」「黄花系」「青花系」の綺麗どころをそれぞれ集めて製作しました。これで、初回の「トウカエデ「花散里」」「カラーリーフ」「アジサイ類」と合わせて、6種類のラインナップとなりました。
ちなみに、クリアファイルに使用している新樹種の解説は、クリアファイルのQRコードを読み取るか、HPをご覧ください。
新樹種部会では、これからも新樹種の普及のために、新樹種のクリアファイルを企画し製作するつもりですので、ご期待ください。



青紫系(青～紫花)



赤花系(赤～ピンク)



黄花系(黄～橙花)

会 員 動 向

社園名・代表者・メールアドレス変更

▷新 ㈱有村 Green(鹿児島県)
有村健二郎 arimura.ever-green@po5.synapse.ne.jp
旧 有村植樹園 有村親志

代表者変更

▷(株)峯樹木園(熊本県)
新 峯 由知 旧 峯 隆吉

退会

▷(有)花国(神奈川県) 関澤 日出子

計 報

鈴木隆志 様(協会員)
鈴木牧場(栃木県) 平成30年4月没
川津他人 様(川津富夫氏のご尊父様)
川津園芸(福岡県) 平成30年4月18日没
杉浦京子 様(杉浦良二氏のご母堂様)
杉浦ナーセリー(埼玉県) 平成30年5月3日没
熊山琴江 様(熊山直行氏のご母堂様)
熊山園(神奈川県) 平成30年5月4日没

コンテナ農場(100万本生産)



コンテナ農場



オリーブ



カンツバキ赤花と白花

(株)瀬戸内園芸センター



愛媛県今治市旦甲 248-1 TEL 0898-48-0010(代) FAX 0898-48-8187
http://www.setoen.com/ E-mail: setouchi@setoen.com

主な生産物
クロマツ コニファー類 ヤシ類
カシ類 クスノキ タブノキ
モチノキ ウバメガシ オリーブ
カクレミノ クログネモチ
サンゴジュ シマトネリコ
マテバシイ ヤブツバキ ヤマモモ
レッドロビン オウゴンマサキ
カンツバキ(赤花と白花) サザンカ
シャリンバイ ツツジ類 トベラ
ハマヒサカキ ヒサカキ ミカン類
サクラ類 イロハモミジ ハナモモなど